

中国市場向けESG対応支援サービス

在中国日系企業のESG対応診断から計画策定・実行までを一貫してサポート

ESG対応※1を経営戦略の中核に据え、持続的な取り組みとして全社的な展開へと進めることによって成長の原動力とする企業は世界的に増大しています。その中で日本企業は、本社のみならず海外各拠点も含めてESG対応を推進し、実績を開示する必要に迫られています。

日本本社から中国拠点に対し、ESG対応の要請が届くことも増えていますが、要請どおりの活動では成果が導出できません。なぜなら、中国固有の社会経済・文化的背景を踏まえ、中国社会が求める活動を正確に把握した上で、独自の活動方針を設定することが重要であり、これこそが、政府からの賛同やステークホルダーからの評価を得るための必須要件だからです。中国政府のESG指針は世界的に見て高水準であることも鑑み、「中国特化型ESG対応」の実行が必要不可欠です。

ABeamコンサルティングは中国社会の要請をふまえて企業価値を高めるため、現状分析から計画策定、各施策の実行支援まで一貫したサービスをご提供します。

在中日系企業の現状

中国では、ESG領域の法制度化が進展し、国民意識も高まりを見せているため、企業は適切な対応によりESGリスクを回避、低減する必要に迫られています。

一方、在中日系企業は日本とは異なるビジネス環境と限られたリソースの中で、事業とESG双方の成果を求められる苦しい状況に立たされています。

日本本社からの要請	中国の特殊性
<p>ESG対応が過熱する中、各海外拠点では…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部評価機関から高評価を得られる実績がほしい ・ 株主からのESG関連の質問に的確に回答したい ・ 地域住民やNGOからの批判が過熱しないよう現地で対応してほしい ・ 取引先からESGに関する認証取得を求められた ・ 製品売上に影響がある社会的な動きがあれば、詳細に報告してほしい ・ 人件費削減のため、駐在員の人数は増やさずにESG対応を進めてほしい 	<p>社会経済環境が異なる中国のESGは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府主導につき、企業は追従しなくてはならない ・ 政府主導のESGは世界的に見て高水準な部分がある ・ 政府の厳しい法規制に素早く対応する必要がある ・ 深刻な環境問題、製品による健康被害の発生により消費者のESG領域への関心が高まっている ・ 経営に関わる政府動向を得るため、企業は常に奔走することが強いられる ・ 現地従業員の定着率が日本と比較して低く、ESG対応も根付きづらい

日々の業務や本社への報告負荷が高い。駐在員の人数も不足しているため、ESG対応を推進する余力がない

ESG対応を実施しても、定着する前に従業員が辞めてしまう



どのようなESG対応により外部評価や従業員満足度が高まるのかわからない

本社方針以上の高水準なESG対応をしなくてはいけない

ESG対応への政府/社会からの反応が予測できず、実行に移せない

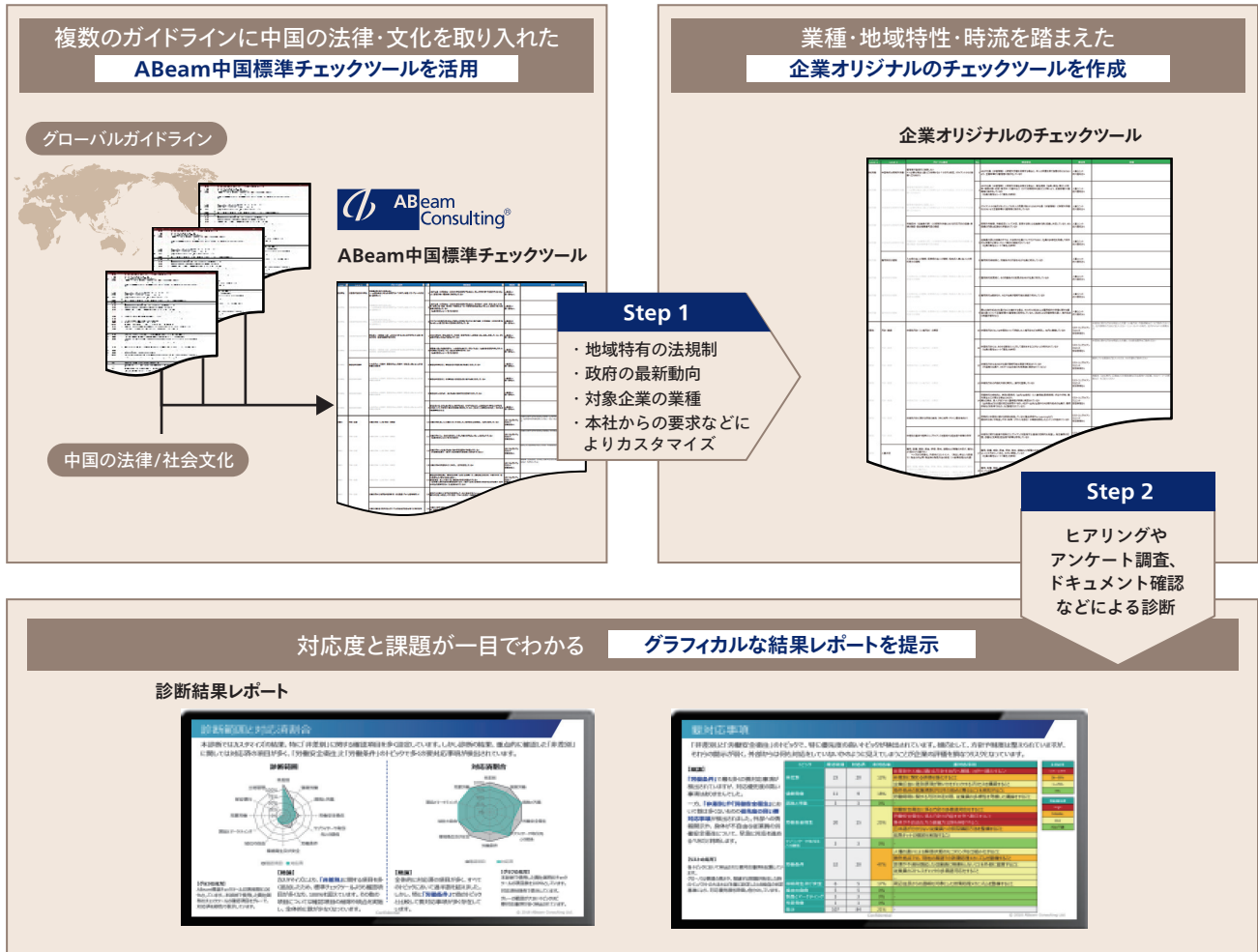
ESG領域のグローバル潮流

- 企業責任・企業価値評価の軸が「E+ESG」領域に拡大
- 国連(UNGC)・パリ協定・SDGs・GRI※2 など、ESG領域で企業責任を求めるガイドラインも次々発行
- 機関投資家による投資先選定の評価基準に「ESG」領域が追加(日本ではGPIFのPRI※3 署名により更に加速)
- オリンピックや国際的メガイイベントへの関連企業選定時にESG領域をチェック

※1 ESG:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った用語。企業の長期的な成長のために必要な観点であるという考え方が世界的な潮流となっている。企業のESG対応全般については弊社HPに掲載の「サステナブル経営支援サービス」を参照。
 ※2 UNGC(国連グローバルコンパクト)、SDGs(持続可能な開発目標)、GRI(Global Reporting Initiative);これらは企業の社会的責任に関するガイドライン。
 ※3 GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)、PRI(国連責任投資原則);世界有数の資産を持つGPIFがPRIに署名したことで、ESG投資の重要性・日本国内での普及が加速している。

ESG対応現状診断

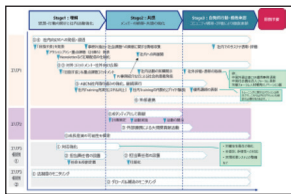
中国の特殊性に配慮しつつESG対応を進めるためには、自社の現状を正しく把握することが非常に重要です。アビームコンサルティングは在中日系企業が特に注視すべきであるESGの「S:社会」「G:ガバナンス」領域に特化した現状診断を提供し、企業リスクの把握を支援します。また、複数のグローバルガイドライン※4に中国の法律・社会文化を取り入れた「ABeam中国標準チェックツール」を保持しています。その上でこれに基づく画一的なチェックに留まることなく、地域特有の法規制、業種の特性や時流を踏まえてチェックツールをカスタマイズし、企業オリジナルのチェックツールを使って診断します。また診断結果は、課題が一目でわかるグラフィカルなレポートで提示し、業務改善のポイントを明らかにします。



「診断結果レポート」を受けて、必要に応じて、以下2種の追加支援も提供します。

診断結果をすぐに業務改善に反映させるために ESGアクションプラン策定

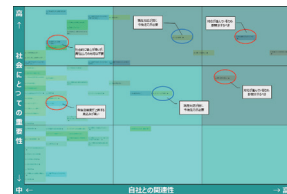
ESG対応現状診断の結果を基に、企業が実施すべき対応をプランニング、可視化します。対応実施によるコストとリターン、対応しない場合のリスクなどを鑑みて優先順位を決定し、企業の目指す姿を実現するための戦略的なアクションプランを策定します。



ESGアクションプラン

追加分析で企業価値向上に直結する取り組みを抽出 マテリアリティ特定

自社と社会課題の関連性を分析、対応すべき社会課題を特定し、事業と関連づけて対応方針を策定します。現状の分析だけでなく、何に取り組むことでより大きく企業価値の向上に寄与できるか、経営の視点から今後のアクションに繋がる効果的な方針を策定します。



マテリアリティ特定結果

※4 デンマーク人権研究所(DIHR)が開発した「人権コンプライアンス・アセスメント(HRCA)クイックチェック」ツールや、欧州委員会の「ビジネスと人権に関する国連指導原則の実施に係るセクター別ガイド」など、グローバルで広く活用されているガイドライン。

ABeam Consulting (Shanghai) Co., Ltd. アビームコンサルティング株式会社 www.abeam.com

本サービスに関するお問い合わせはこちらまで：中野 洋輔 (ynakano@abeam.com)
16F, Tower 2, Jing'an Kerry Centre, No.1539, West Nanjing Road, Jing'an District, Shanghai 200040
Tel: +86-21-3303-9510 Fax: +86-21-6093-3201